

ボランティア相談員の研修

社) いのちの電話

〒102-0071 東京都千代田区富士見 1-2-32

助成事業の概要

実施目的：電話のかけ手の気持ち・感じ方・今の気持ちを受容し、また、うけ手として、かけ手との共感関係を構築する能力を育てます。

実施時期：養成研修の合宿：2023 年 4 月 29 日～5 月 1 日（2 泊 3 日合宿）

新フォローアップ研修：2023 年 6 月 24 日、8 月 5 日

フォローアップ研修：2023 年 10 月 21 日、12 月 2 日

リーダー合宿：2024 年 1 月 27 日～28 日（2 日間通い合宿）

インターン研修：2024 年 1 月 25 日、2 月 22 日、3 月 21 日、に予定通り実施しました。

内容等：養成合宿研修：自分たちが主体的に取り組む合宿研修に最初は戸惑いがあったものの、ここでかかわることへ手探りで向かうことが出来ました。

新フォローアップ研修：今年度初の取り組みでしたが、参加者に好評でした。

フォローアップ研修：参加者が多く、内容も充実していた、と感想をもらいました。

リーダー合宿：スーパービジョンについての講義が好評でした。

インターン期：相談員として活動開始予定の 27 名と、長期欠席や他のセンターから移籍してきた相談員数名を対象に、組織、事務手続き等の詳細を説明しました。

事業の成果

2020 年以來の懸案であったコロナが一応の落ち着きを見せ始め、今年度は研修もなんとかコロナの影響を受けずにすすめることができました。特に、養成研修の合宿研修は、従来の 2 泊 3 日の予定通り実施することができ、関係者は安どしました。宿泊を伴う研修が、この時期の相談員養成研修に重要な意味を持つことを研修担当者が再認識できる機会となりました。施設の事情で食事の提供がなかったことから、スタッフが食事を調達し提供するという苦労がありましたが、何とか乗り越えることができました。

新フォローアップ研修は今年度から実施しました。相談員として認定されてから 7-8 年のメンバーを対象として、電話の話し方がマイペースになっていないか、お互いにチェックしあう機会となり、同期の相談員との親睦を兼ねて、久しぶりに顔を合わせ同期会のような雰囲気でした。

フォローアップ研修は相談員になったばかりの人を対象に、例年通りの研修を行いました。

リーダー合宿は、スーパービジョンの専門の先生に講義をお願いし、理解を深めた研修となりました。

インターン期研修は 3 回にわたり、相談員として認定された新人に、いのちの電話の組織としての取り組みや活動におけるルールを理解していただくこと、を重点的に行いました。

いずれの研修も予定通り行うことが出来、一定の成果ができたことは大変良かったと安堵しております。

■ 成果の広報・公表

いのちの電話は1度だけの電話の出会いの中で、掛け手の思いや苦しみを聞き、少しでも掛け手の孤独を癒し、苦しい思いが落ち着き、頭の中を整理する助けになることを心がけています。

そのため相談員になるうとする者は自己の価値観を見直し、掛け手の思いに寄り添うための研修を受けます。頭で考えたこと、体裁の良い言葉や励ましによる「解決」などではなく、気持ちのやり取りができるようになるためには時間がかかります。そのために様々な場面での研修が必要です。

常に研修を行い、仲間同士の励まし合い、学習し、自分をふりかえることを念頭にしています。

これで終わり、ということがありません。社会は常に変化し、戦争や地震も起こります。掛け手は敏感に変化を感じ取り、悩みを訴えます。その変化に対応しながら慢心することなく、変化を恐れることなく、「人は変わることが出来る。」ことを、掛け手に伝えてゆきたいと考えております。

■ 今後の展開

コロナ禍でのテレビ報道等で、いのちの電話の認知度が以前に比べ高くなりました。ここ数年は相談員になるための研修に応募いただく方が増えてきました。しかし、コロナ禍が収束したことにより、再びいのちの電話への関心がなくなってしまふことが懸念されます。その反面、本年度は都内各地区の保健所から、いのちの電話の出前講座としてゲートキーパー講座を依頼をいただくケースが多くありました。地域でのいろいろな場面でいのちの電話での活動に関心を持たれていることも事実であり、私達の研修のやり方について、再認識する良い機会になりました。今後も相談員を増やして、電話をかけてくる孤独や苦しみの中にある人々への対応、地域のニーズにも応えてゆけ

るいのちの電話の活動であり続けたいと考えております。